

平成 28 年第 3 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
9月6日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	平 野 直 幸 議員	2
	3	3	中 野 良 雄 議員	2
	4	4	渡 辺 督 郎 議員	4
9月7日(水)	5	1	小 嶋 俊 樹 議員	5
	6	2	淵 瀬 栄 子 議員	5
	7	3	佐々木 義 信 議員	6
	8	4	朝 長 隆 洋 議員	7
9月8日(木)	9	1	中 尾 清 敏 議員	8
	10	2	戸 浦 善 彦 議員	9
	11	3	杉 澤 泰 彦 議員	9
	12	4	中 里 悟 議員	10
9月9日(金)	13	1	田 崎 耕 太 議員	11
	14	2	宮 本 一 昭 議員	12

1. 岩本利雄議員

質問事項1

企業誘致について

質問の要旨

(1) パールテクノ西海について

① 西彼町風早地区に造成中の工業団地「パールテクノ西海」は、既に第1期工事が完了し、平成27年4月から4.3ヘクタールの分譲を開始した。その上で、計画では、平成29年度中に分譲を終え、平成30年度から第2期工事の造成が予定されている。

一方、これまでの企業誘致に向けた取組みとしては、平成20年度から昨年度までは、長崎県産業振興財団へ派遣された市の職員が、同財団の職員として、かつ、同財団による企業訪問活動としてではあるものの、延べ2,149件の企業訪問を実施されており、また、同財団への職員派遣を取り止めた今年度は、市独自で、本年7月までに105件の企業訪問を実施されている。

これまでに、分譲に向けて具体的な話を進めている企業もあるとの話を聞いているが、現在まで1件も成約されていない。

このままの状態では推移すると、平成29年度までに第1期工事分を完売できるのか非常に憂慮している。これまでの企業誘致に向けた取組みに問題点はなかったか。あったとすればどのようなことを問題点とし、今後の課題として捉えているのかについて問う。

(2) 大島地区工業団地について

① 平成28年度から、県事業として埠頭工事に着手するようになっているが、造成事業工程について、遅れはなく問題ないかを問う。

② 埠頭背後地の工業用地造成工事が完了すれば、大島造船所とその関連企業が進出し、約500名の雇用が生まれると聞いている。市は、「その方たちには全員西海市に住んでいただく」と言っているが、雇用と定住対策についてどのように考えているかを問う。

質問事項2

旧長崎オランダ村施設「Cゾーン」の利活用について

質問の要旨

旧長崎オランダ村「Cゾーン」について、ハウステンボスによる利活用が検討されている旨報道されて久しいが、その後の動きはどうなっているかを問う。

2. 平野直幸議員

質問事項1

バイオマス事業全般について

質問の要旨

西海市のバイオマス構想は、合併直後に国の認可を受けている。また、その後には、再生可能エネルギー分野の構想も策定され、木質バイオマス化による実証的取組みが、公共施設で稼働中である。

バイオマス化は、二酸化炭素削減社会の実現及び再生可能エネルギー化等の推進にとって重要な施策である反面、投資効果等の問題もあり、施策を定着させるには課題もあると認識する。

そこで、本市は今後、バイオマス事業をどのような方針で各生産分野や市民生活の場等に導入する計画なのか、次のことを伺う。

- (1) 稼働中の木質バイオマス施設の現状と今後の運営方針は。
- (2) ハウス型施設への導入と支援策は計画できるか。
- (3) 畜産廃棄物・未利用材活用等によるバイオマス発電化の検討はどうか。

質問事項2

畜産振興策について

質問の要旨

畜産の分野は、今でも年40億円を上回る生産額で推移するなど、本市の基幹産業と言われる農業の中においても極めて高い役割を果たしている。

さらに、国・県の支援制度を有効活用し、且つ、西海市においても支援拡充するなどして、本市の畜産をより重点的に推進することは、将来に向けて挑戦する農業の里づくりになると考える。ついては、次のことについて伺う。

- (1) 畜産クラスター事業の現状について
- (2) 畜産クラスター事業の拡大等、今後の取組みについて
- (3) 畜産廃棄物の処理状況と農地還元の見通しについて

3. 中野良雄議員

質問事項1

学校給食について

質問の要旨

(1) 学校給食費の負担軽減及び無償化について

子育て世代の教育費に対する負担感は大きく、少子化対策や子どもの貧困対策としても、その対応が急務となっている。

そこで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境をつくることで、少子化や子どもの貧困化に歯止めをかけるため、小・中学校給食費の補助等による負担軽減及び実質無償化を実施する考えはないか伺う。

具体的には、給食費の補助として児童・生徒1人につき月額2,000円を補助し、また、同一世帯で3人目以降の児童・生徒については、その給食費を実質無償化するための補助や材料費の負担を実施する考えはないか伺う。

(2) 学校給食食材の地産地消について

学校給食食材の地産地消の推進状況と今後の地産地消率向上策を伺う。

質問事項2

結婚・出産・子育ての希望をかなえる子育て支援について

質問の要旨

(1) 次世代の親の育成について

長崎県は、社会全体で子育てに取り組むことや、若い世代が将来イメージを育み、安心して結婚し子どもを生ま育てることができる環境づくりを推進するため、「子どもは宝」文化醸成事業を実施している。

その中で、高校生などには、結婚や子育てのイメージづくりとして「未来予想図ワークショップ」等に取り組んでいることが新聞報道されている。

中でも、西彼杵高校では、子育て中の親も参加して実施され、好評であったと聞いているが、今後の実施予定はないと聞いている。

市内には3つの高校があるが、次世代の親育成のため、市の事業として各校で取り組む考えはないか伺う。

(2) 今後の子育て支援策について

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるためには、子育て環境の改善が必要とされ、そのためには、子育ての安心につながる人と人との新たなネットワークづくりが必要と言われている。

本市では、子育て支援に係るワークショップ等に取り組んでおられるが、それらの取組みの現状と今後の子育て支援策、特に若い世代を対象とした支援策を充実化するための施策について伺う。

4. 渡 辺 督 郎 議 員

質問事項 1

次期西海市長選立候補について

質問の要旨

- (1) 3月定例会における3番議員の一般質問で、市長の次期西海市長選挙への立候補意思を問う質問に対し、「然るべき時期に発表させて頂こうと思っている」旨の答弁をされているが、そろそろ表明されて然るべき時期に来ていると考える。この際、市長の次期西海市長選挙への立候補に向けた考えを伺う。

質問事項 2

RESAS(地域経済分析システム)の活用について

質問の要旨

- (1) RESASは、総合戦略、人口ビジョン作成時のツールとして、国が作成した地域経済分析システムであるが、西海市の総合戦略を作成する上で、どのように活用されたのか伺う。
- (2) 今後、このRESASをどのように活用していくのか。
- (3) このRESASの活用は、自治体のみではなく、制限はあるものの広く一般社会に公開されている。市民に対する利活用、啓もう活動に取り組んではどうか。

質問事項 3

防災行政無線の活用について

質問の要旨

- (1) 防災行政無線は、防災のための情報提供の他に、市のイベント情報や、臨時職員募集、市営住宅入居募集、市営船の運航、大島大橋の交通情報等、様々な用途に活用されている。

他の自治体では、認知症で行方不明になった高齢者を早期に保護することを目的に、認知症老人の徘徊情報を流したり、警察と事前に覚書を交わし、凶悪犯罪発生時の迅速な情報提供等の活用がなされている。西海市でも、取り組んではどうか。

- (2) 防災行政無線のデジタル化に伴い、各地区が主体的に防災行政無線を活用できるようになった。そこで、活用にあたって、放送できない（してはならない）内容など何らかの制限があるのか伺う。

5. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

学校給食センターについて

質問の要旨

食は「医食同源」のごとく、人の機能を高める最も重要な役割である事は言うまでもない。

そこで、老若男女を問わず、健康維持が最も大切であることを踏まえ、次の質問をする。

- (1) 現在、施設の老朽化に伴い検討されている給食センターの新設はいつ頃になるのか伺いたい。
- (2) 平成 26 年に供用開始された福岡県行橋市の防災食育センターのようなモデル的給食施設の建設は検討出来ないか伺いたい。

6. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

就学援助制度について

質問の要旨

経済的理由による就学困難な児童・生徒に対して、義務教育を円滑に受けることが出来るよう支援する就学援助制度について伺う。

- (1) 就学の支援制度を確実に周知し、必要な援助がもれなく受けられるようにすることが重要であるが、本市の周知方法と申請方法はどのようになっているか。
- (2) 支給時期について、本市の場合、学期ごととし、1 回目の支給は7月であるとの答弁が昨年の決算審査の折にあってしたが、入学準備金は、ランドセルや制服などを購入する入学前に支給出来るよう改善出来ないか。また、その他の費用についても、支給時期を早めることが出来ないか。

質問事項 2

松島地域振興について

質問の要旨

西海市は、長崎県企画振興部が平成 25 年 5 月に策定した松島地域振興計画に基づき、松島地域の振興に取り組んでいると聞く。

その計画には、島内で実施されているイベントや多様な観光資源を活用した来島

者の拡大及び交流による島の活性化を図るため、地域の主体的な取組みに対する支援に努めるとある。

そこで、島民から寄せられた声に基づき、以下の点について伺う。

- (1) 閉校した松島小学校の校長・教頭住宅を離島暮らし体験施設などとして活用出来ないか。
- (2) 遠見岳受水槽や給水タンクなど水道施設の老朽化により遠見岳公園での手洗いやトイレの使用が不便になっているので改修出来ないか。
- (3) 島を周遊する来島者のために常設のトイレを設置出来ないか。
- (4) 地域おこし協力隊など若い世代の人材を確保し、松島の情報発信と島民や来島者が集える施設の運営が出来ないか。

質問事項 3

旧長崎オランダ村施設利活用事業について

質問の要旨

旧長崎オランダ村施設 B ゾーンの改修工事が平成 28 年 3 月に完成し 4 月に「ポートホールン長崎」として施設がオープンした。

そこで、以下の点について伺う。

- (1) 平成 27 年度予算に計上されていた旧長崎オランダ村施設利活用事業のうち給水基幹設備改修工事による給水管 4 カ所の敷設工事が未実施であるが、工事の必要性がなくなった理由は何か。
- (2) 8 月 23 日に、さいかい力創造部情報観光課職員とポートホールン長崎の関係者立会いの下、西彼中央運動場の給水施設より、ホースをつなぎ、ポートホールン長崎へ給水を行っている現状を確認したが、この件についての説明と施設全体の給水状況について伺う。

7. 佐々木 義 信 議員

質問事項 1

スポーツ振興について

質問の要旨

スポーツは体力の増進はもとより、心の健康をも育むものである。特に青少年期にスポーツに取り組む事は、将来への夢と希望、更には豊かな人間性を育むことに繋がるものと考えます。また、高齢者にとっても、生きがいとなり、健康寿命の持続

などの効果も期待できる。

そこで次の点について伺う。

- (1) 健康の里さいかいの実現へ向けた今後の取組みについて
- (2) 少子化で、子供の数が減少する中、今後スポーツクラブや部活動をどう維持していくのか、その対策について
- (3) 本県代表として、九州大会や全国大会へ出場する者及び国体の本県代表選手に対する支援を拡充する必要があると思うが、今後のあり方について

質問事項 2

農水産加工所等に対する支援について

質問の要旨

市内には、地域の食材を活かし、農水産物の加工や開発に取り組んでいる個人、団体が市に登録をされているだけで 30 程度ある。

登録者の方々の話を聞くと、継続はしているが、運営には苦労も多く、大変であるとのことであった。皆さんの多くは、西海市の地域おこしの一環として取り組んでおり、今後の 6 次産業化へと繋がる部分もあることから、施設の改修等に対する支援策が必要と思うが、市長の考えを伺う。

8. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

西海市の公共交通の現状と今後の政策的展開について

質問の要旨

地方創生の時代に入り、他の自治体との競争が激しくなってくる。

総合戦略による人口 3 万人の持続のためには、西海市の一番の課題である公共交通の不便さにしっかりと目を向け、改善に取り組まなければ、目標の達成と市の発展は望めない。

すでに乗客数の減少や運転手の確保の困難さなどから、民間交通会社がダイヤを減少させるなどの状況も生まれてきている。

このことについて、今後の公共交通の在り方をしっかりと調査し、自家用車を所有しない方の移動や学生の通学の不便さを克服しなければならない。今後どのように進めて解決を図っていくのか伺う。

質問事項 2

市民の人材育成について

質問の要旨

地方創生は、市民協働が力強く前進しなければその発展は望めない。総合戦略は市民と行政の信頼関係の構築の上に成り立つ。

例えば商工会・観光協会・福祉団体・スポーツ団体など、将来にわたって、様々な分野で市民活動をリードする人材の育成に力を注がなければ、市の将来は無いといっても過言ではない。その点に対する市長の考え方と今後の取組みを伺う。

質問事項 3

各種スポーツ団体及びスポーツ指導者に対する支援策について

質問の要旨

市内のスポーツ団体の支援により、スポーツ人口の増加とスポーツによる交流を深めることは、市民の健康増進並びに将来のある子ども達に夢を与え、地域の絆を深めていくうえで欠かせない。

市内スポーツの現状を的確に把握し、将来に向けて取り組みやすい環境作りと指導者に対する支援策を講じなければならないと思うが、今後の具体的な方法を伺う。

9. 中尾清敏議員

質問事項 1

まち・ひと・しごと総合戦略について

質問の要旨

政府の「未来への投資を実現する経済対策」には、総務省のチャレンジ・ふるさとワーク事業が入っており、具体的な施策として、「ふるさとワーキングホリデー」が挙げられている。この「ふるさとワーキングホリデー」は、都市部の大学生など、次世代を担う若者が、一定期間、地方に滞在して働きながら、地域住民との交流などを通じて、地域の暮らしを学ぶ「国内版のワーキングホリデー」と称されている。こういった事業を踏まえ、次の点について伺う。

- (1) インターネット網やインフラ整備が進んだことで、都市部から田舎への移住を希望する人が増えているが、移住相談の状況は。
- (2) UIターンによる新規就農者の増加は人口減少対策になる。就農時に必要な遊休地、空き農業施設等の情報提供や紹介は、どのような方法で行っているのか。

また、就農希望者への実践研修に係る支援体制の整備状況について伺う。

- (3) 現在の民泊の登録者数と受入可能人数は。民泊登録者数が少ない場合は、登録件数を増やす計画はあるのか。
- (4) 民泊受入れ者への支援策、住環境の整備等はどのようになっているか。また、今後の対応は。
- (5) これまでの修学旅行は、主に歴史学習や平和学習など、見て学習することが中心であったが、最近では、体験型の修学旅行が増えている。

そこで、西海市でも民泊を核として、地域の暮らしを体験できる修学旅行誘致を本格的に実施してはどうかと考えるが、市長の考えを伺う。

- (6) 地域の魅力を発信する場、人が集まって交流する場、ゲストハウス、シェアハウスなど、新しい形式の宿泊施設を今後、設置する考えはないか。

10. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

今後、西海市が目指す、まちづくりについて

質問の要旨

- (1) 活力ある農山漁村構築の為、市として、何を重点施策としているのか。具体的な取組みについて伺う。
- (2) 『おもてなし』を唱える当市において、市が有する美しい景観や資源の保全、活用の為の取組みとして具体的に何をされようとしているのか伺う。

質問事項 2

今後、西海市が目指す人づくりについて

質問の要旨

- (1) 児童、生徒の夢を育むスポーツ活動の充実振興を図る為、具体的施策について、市はどうあるべきと考えているか伺う。
- (2) 人口 3 万人を目指す当市において、夢ある婚活支援はどうあるべきか具体策を伺う。

11. 杉 澤 泰 彦 議員

質問事項 1

農業政策について

質問の要旨

総合計画に西海市に適した作物、収益性の高い作物の産地育成が謳われている。これは農業だけでなく、水産業にも言えることであり、西海市ならではの作物、魚種への特化、また、農産水産加工品の開発、事業への支援は今後の西海市の政策において重要課題でもある。

先日、ある農業者から西海市に適した農作物として、アボカド栽培の提案を受けた。そこで、次のことについての市の考えを伺いたい。

- (1) 市長もこの件は、情報を得ていると聞いているが、アボカド栽培の潜在的可能性については。
- (2) 試験的栽培期間に対する支援策は。

質問事項 2

情報通信環境格差について

質問の要旨

地方創生に欠かせないものとして情報通信環境の格差是正がある。西海市の光高速通信環境整備計画について伺う。

- (1) 地方創生における情報通信環境整備の重要性についての市の考え方は。
- (2) 本土側並びに離島地域における具体的な整備計画については。

質問事項 3

西海医療福祉センターについて

質問の要旨

24時間診療を条件としてスタートした施設であるにもかかわらず、未だ実行されていない。医師の確保が難しいことが大きな要因であるとのことであるが、医師の募集はなされているのか。

また、福祉施設の方においても、スタッフ不足に加え、退職者が絶えないとも聞いている。民間事業所とはいえ、市の支援が入った施設である。なんらかの助言、指導も当然必要であると考えますが、現在の状況について伺う。

12. 中 里 悟 議員

質問事項 1

農業振興策について

質問の要旨

- (1) 市内農業者全体の年齢別構成比と、そのうち専業農家の数を伺う。
- (2) 増加する荒廃農地の現状と、その解決策について伺う。
- (3) 当市における新規就農者の近年の動向と、その支援策について伺う。
- (4) 単独農家への農地集積の新たな支援策の考えはないか伺う。
- (5) 元気な佐世保市のみかん経営と苦境に立つ当市のみかん経営の実態と格差要因をどのように捉えているか伺う。

質問事項 2

市内監視カメラの実態について

質問要旨

市内における現在の設置数（民間含む）を把握されているか。また、市が設置する考えはないか伺う。

質問事項 3

小迎、川内間の国道改良について

質問要旨

- (1) 改良が一向に進まない要因は何か伺う。
- (2) 現在までの市の取組みと、今後の見通しについて伺う。

13. 田 崎 耕 太 議員

質問事項 1

市長選立候補について

質問の要旨

- (1) 市長在任約7年半の総括について伺う。
- (2) 市長選立候補の有無とその理由について、再度、市長の意向を問う。

質問事項 2

市の最重要施策について

質問の要旨

- (1) 旧長崎オランダ村施設利活用事業に係るホーランドヴィレッジとの契約の仕方の是非、契約内容の詳細に関する議会への説明責任の履行の時期の適切・不適

切について、反省はないか伺うとともに、開業から現在に至るまでのポートホール長崎の経営の実態について、詳細な説明を求める。

- (2) 残すところ約半年の市長の任期内において、パールテクノ西海に企業誘致の望みはあるのか。その真意を問う。

14. 宮 本 一 昭 議員

質問事項 1

農業の 6 次産業化の推進と支援について

質問の要旨

農業の 6 次産業化が進められて久しい。市内にもおよそ 30 の個人や加工組合、生活改善グループが登録されている。今後、6 次産業を推進していくための対応、支援について伺う。

- (1) 加工組合や改善グループ等を設立して生産にあたっているが、施設が老朽化し、今後の事業継続には多額の改修費が見込まれるため、負担がかさみ、グループ関係者のみではとうてい無理である。市として 6 次産業を進める上で支援の必要があると考えるが、いかがか。
- (2) 加工品を市の特産として“ふるさと納税”の返礼品として使っていく事もできると考えられるが、市の考えはどうか。

質問事項 2

海を活用したルート開発について

質問の要旨

地方創生加速化交付金の事業内訳の中で、“海を活用したルート開発”が掲げられているが、その内容について詳しく伺う。

- (1) 大村湾にある“無人島田島”に係るルート開発なのかどうか伺いたい。
- (2) ルート開発に携わるコンサルタント会社と市の関連は。